

平成25年度 教育実践目標 関係者評価

1 総合的な学校関係者評価

- 学校全体として熱心に取り組んでいる姿勢は非常に評価できるものがある。昨年度の課題について教員一人ひとりが真摯に課題を見つめながら、よりよき実践や行動に結びついていることが今回のアンケート調査からも十分見えてくる。今後明石市内のブランド力ある高校としての継続的努力を期待したい。
- 学校評価もそうであるが、大半における授業評価も本来は学校側の視点で授業の進め方や授業内容などについて当初は教員の授業改革を呼び起こすことが主目的であったが、現在はまったく形骸化している。ということはすべての学校評価もいづれ評価のための評価に陥ることになりかねない陥穽が待ち受けている。そうならないためにも、絶えず社会環境や商業教育を取り巻く時代状況に敏感になることで、そうした危機を回避しなければならない。それには教員一人ひとりが自らその得意分野や専門分野で主体的に取り組む姿勢、それが周りに伝わるようなコミュニケーション能力、生徒や保護者の思いや声なき声を救いあげる勇気、そうしたものをキーワードにした張り紙を絶えず職員室や教室などに掲示することで、教職員と生徒、保護者、地域の人たちが目に留まるような、意識改革や環境づくりも求めたい。今回で任期の2年を終えることとなりますが、これまで明石商業高校のすばらしさとフレンドリーさ、商業高校らしい取組み、とても好きでした。有難うございました。
- 総合的評価をするには、知識・実情把握で不十分です。
- 学校の目標の一つ「地域から信頼され、地域に開かれた学校づくり」は、理解不足はあるかもしれませんが、まだまだ改善・工夫の余地はあると思います。
- 学校も地域住民もお互いをよく知り、共に行動することが必要と思う。近年出前講座、うおずみん活動など新しい芽にも期待です。
- 保護者アンケートで明石商業高等学校に入学させてよかったと思うが91.8%であった。また、兄弟姉妹で明石商業高等学校に入学・卒業する生徒も多い。これは、校長・教頭をはじめ各教職員の熱心な教育指導を行っている事と感謝致します。
- 今年度の教育実践目標は良く出来ていたと思っている。特に、学校運営面では先生方の自己評価アンケートでも表れている通り、一部に不十分な所はありますが内容も良く、今後も期待しています。
- 保護者へのアピール不足が感じられます。

2 実践目標評価 【A：よく出来た B：出来た C：あまり出来なかった D：出来なかった

領域	評価の観点	関係者評価					ご意見(コメント)
学校運営	開かれた学校づくり	B	B	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ この本質はそのことが結果として地域に変革をもたらすきっかけを呼び起こしたり、あるいは直接的な学校への評価につながるということになる。そのための方策が期待される。 ○ ホームページ等にて学校外の我々卒業生でも、親しく見ることができるので、現在の明石商業の感じがわかりやすいと思います。 ○ 地域住民に、分かりやすく複数手段で学校情報の発信を。 ○ 体育祭など、より多くの住民が校内へを望みます。 ○ JR魚住駅の掲示板(市道路管理課)活用はいかかでしょうか。 ○ ホームページは更新日を決め、定期的に行うのが良いと思います。 ○ 国際会計科の教育が充実し、海外とも交流を深めていることをもっと中学校(兵庫県内)にアピールしてほしい。
	生徒指導	B	B	C	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 粘り強く指導を続けている。 ○ 生徒指導は授業時から始まっていることを全教員で再認識することも重要である。 ○ 国道2号線から魚住駅までの歩道を通行している生徒が信号を守らないで通行している様子を多々見かけます。事故等が心配に感じます。(特に下校時) ○ 交通ルールの遵守を。見た目の悪さが全体に影響します。 ○ 今後も保護者、教員の方々が一体になり「A」を目指してください。 ○ 自転車通学で事故が少々あるが、通学マナーは毎年向上している。子供達が明るい。
	進路指導	A	B	(A)	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路結果は進学・就職も含めよく努力されているのであるが、保護者の指摘にもあるとおり、進路情報の適切な提供という点で努力の余地が残されている。 ○ 先生方ががんばっておられることが、保護者に伝わっていないのでしょうか。よくわかりません。 ○ 評価できるレベルではありません。(教職員評価に準じます)(中途の進路変更生徒にも) ○ 生徒の能力・適性に合わせた進路指導をこれからも続けてください。 ○ ほとんどの生徒が進路を決めています。もう少し就職先を増やしてほしいと思います。
学	教職員の資質向上	B	(A)	(A)	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報を共有するだけではまだ不十分である。それを日々の実践活動に取り入れる仕組みづくりや具体的なアクションが個々の教員一人ひとりに求める必要がある。 ○ 評価できるレベルではありません。(教職員評価に準じます) ○ 情報の共有は非常に大切です。これからも続けて下さい。 ○ 教員実践目標で自己評価ができなかった課題について、各教職員で話し合い、克服してほしい。

校運営	危機管理体制の整備	C	(B)	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度より指摘しているが、具体的な危機管理マニュアルやプランニングが見えてこない。災害など緊急時には地域住民も利用するため、地元自治会も交えた取り決めや取組みも重要な案件の一つである。 ○ 生徒の安全(対策)が第一ですが、東中学校、近隣住民への援助(避難場所、防災訓練)も、想定内に考えて下さい。 ○ 教職員の方々の努力で、より一層の安全対策を目指して下さい。 ○ 災害発生時のビデオ等をつかい、生徒に危機を予知してもらいたい。
	確かな学力の確立	B	(C)	(C)	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力には数値化される見える学力と、日頃の学習に対する姿勢や継続性といった習慣・態度から、回答までに至る思考プロセスを重視する、いわば目に見えない学力的なものも存在している。そうした学力観についても今後検討すべき時期に来ている。 ○ 評価できるレベルではありません。(教職員評価に準じます) ○ 基礎学力は学校教育では不可欠であり、また進学、就職に影響もあり努力してください。 ○ 「シビルミニウム」という言葉はわかりにくい。 ○ 毎朝5～10分間の朝学習の実施は、進路先でも活用してもらいたい。
	特色ある学校づくり	A	(A)	A	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特色づくりに向けて今回は地域循環交通のタコバスに関しての取り組みはホット(熱く)でクール(かっこいい)なものである。商業科における教育そのものが特色であるのは理解できるが、「○○しました!」という面ばかりを強調することに終わっていないであろうか。 ○ うおずみんふるさと創生プロジェクトへの参加は、画期的と思います。2月9日の第2回発表会では、石井君をはじめOBの参加をいただきました。地産地消の料理教室也大評判です。先生方の指導に感謝です。 ○ オープンハイスクールは開かれた学校というイメージアップ、商業学校としての専門性をアピールする良い機会だったと思います。 ○ 兵庫県でN01のスポーツクラブを早く実現してほしい。監督、コーチの確保。
	健やかな体の育成	B	(B)	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年、体育祭に招待されました。生徒達の躍動、はつらつさに青春を感じました。多くの住民に見てもらえたらと思いました。 ○ 現状を続けてください。 ○ 保健室を利用する事で、生徒の健康状態だけでなく、悩み事も相談しやすい様です。
課題教育	豊かな心の育成	B	(B)	(B)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個々のカウンセリングも重要なことであるが、それはどちらかというと対個人の問題解決のためのヒントや社会人として生きるための思いやりであったり協調性や寛容な心を育てるといった意味合いが強いと思われる。むしろここでは学校全体として校訓を題材に1年生「自立」、2年生「親和」、3年生「感謝」というテーマで前生徒が取り組む校内作文コンクールを実施したりといった全員でおこなう方策が望ましい。 ○ 評価できる知識をもっていません(教職員評価に準じます) ○ 生徒が何か不安があれば学校(先生、保健室)へと言う認識づくりにこれからも取り組んでください。 ○ 中学校では各社会の体験学習を行っています。明石商業も年1回生徒がやってみたい職業の体験学習を地域のご協力をいただき、実施してみしてほしい。
	人権教育	B	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピックやパラリンピックでのアスリートたちの想像を絶する環境での努力、東日本大震災での被災者たちが助け合い譲り合いといったお互いをいたわる日本人の道徳観や精神について、全教員がそれぞれ一つ題材となるものえおA4で1枚作成し、授業時にそれらを活用するといったオリジナルな明石商業らしい教育を展開してはどうかと考える。 ○ いそがしい学習に追われて人権のことをあまり勉強することが出来ないと思います。保護者アンケートを見ても、家庭の中でもなかなか人権の話をする機会がないように思われます。(ややそう思う)というアンケートもそれが原因かもしれませんね。保護者は良い方にとっているのでしょうか。 ○ 人権教育は、家庭～小学校～中学校の流れで、高校時代が集大成ではないかと思っています。違いを認め、お互いを大切にしようことが卒業後の自分です。高校生活、仲間から学びとってほしい。 ○ 人権教育は、非常に難しい面もありますが、計画性を持って取り組んで行くべきであり、必要に応じて専門家への依頼も大事かと思っています。 ○ だれとでも明るく接する生徒が多い。いじめ、差別をする生徒はいないと聞いています。

課題教育	読書活動の推進	B	A	A	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者において、家族が読みたい本を逆に生徒に貸出し、それによって本を持ち帰ることで、多少なりとも本の表紙や単行本であればその裏表紙に興味を惹くようなストーリーを見るだけでも、生徒本人のプラスになるのではないのでしょうか。 ○ 図書館等の設備が充実していて、設備は整っていることも保護者は認めているように思います。 ○ 評価できる知識をもっていません。(教職員評価に準じます) ○ これからも読書活動の推進をお願いします。 ○ 読書活動も大切ですが、生徒に新聞を読む活動も行ってほしい。
	商業科教育	A	A	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常によく頑張れているかと思います。資格取得の数、各種検定の1級合格者の多さなど、非常に目に見える、普通科とは異なる存在価値を発揮している。 ○ 保護者アンケート結果を見て、90%以上が良いほうの意見であるのでそう感じた。 ○ 資格・検定合格など日本一を評価します。 ○ “身の丈にあった結果の追求”とありますが、将来の可能性の芽を伸ばすことも。 ○ 各種資格・検定の結果も大切ですが、生徒各自の挑戦意欲向上も必要と思います。 ○ スポーツクラスでも、検定合格を1つでも多くとらせる教育を行ってほしい。
	国際会計科教育	A	B	B	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際関係の課題取組みや各大学が高校生を対象にしたコンクールなどに生徒が自発的に取り組むよになれば、これまで以上に多数出たければもっと国際会計科面白くなる。 ○ 保護者アンケート、教職員自己アンケートから評価しました。 ○ 評価できる知識をもっていません。(教職員評価を準じます) ○ より魅力ある学科となるよう期待しています。 ○ 進学も毎年充実していると思います。大学との交流も増やしてほしいと思います。